

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ウロボロス		ワークス	FHエージェントC	カヴァー	FHエージェント
	オプション		年齢	29	性別	男
覚醒	死	衝動	解放	初期侵食率	44	%
出自	権力者の血統		経験	喪失	邂逅	世界を築く

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1		0			1	行動値	8
感覚	1		0			1	(非装備時)	8
精神	5	1	0			6	戦闘移動	13
社会	1		0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ダメージグローブ	白兵	1r	1	1		(上級66)素手のデータを変更

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリス	消費	
不死者	P	N			
カイテル家	P 執着	N 憎悪			
FHセル"ネイビー"	P 親近感	N 恐怖			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
極限暴走	1	-	常時	至近	自身	自動	リミット	
効果:(HR84)前提条件:《背徳の理》。「オーヴァードに1点でもHPダメージを与えた場合に使用可能」と記載されたエフェクトの使用条件を「あなたがBSの暴走を受けた際」にも使用可能にする。基本侵蝕値+3(適用済み)								
悪食の蛇	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:(HR84)1G1回、オーヴァードに1点でもHPダメージを与えた場合に使用可能、「1S●回まで使用できる」と記載されたエフェクトの使用回数を1回分回復する								
背徳の理	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:(EA124)オーヴァードに1点でもHPダメージを与えた場合に使用可能、ウロボロスのエフェクトと組み合わせた判定に+[LV×2]								
天上からの誘い	3	3	イニシアチブ	至近	自身	自動	解放、120↑	
効果:(RU17)1S1回、R中で自身が行う判定の達成値に+[LV×5]。他のエフェクトと組み合わせ不可								
原初の灰:千変の刃	5	5	マイナー	至近	自身	自動	解放、120↑	
効果:(RU17)シーン中、白兵攻撃の範囲を「範囲(選択)」、攻撃力:[LV×3]にする。使用時にBSの暴走を受ける								
コンセントレイト:ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:(EA128)C値-[LV](下限:7)								
無形の影	1	4	メジャー	-	-	効果	-	
効果:(EA124)1R1回、あらゆる判定で使用可能、判定を【精神】で代行								
構造看破	★	-	メジャー	至近	効果	自動(※)	-	
効果:(EA095)人工物の構造を瞬時に理解する。必要ならば<知識:>による判定を行う								
闇夜の烏	★	-	メジャー	至近	自身	自動(※)	-	
効果:(RW44)影の中に溶け、自在に移動する。必要ならば<知覚>による対決を行う								
ダメージグローブ	5							
効果:(上級66)装備欄参照(経験値10点分)								

●概略
FHセル"ネイビー"の構成員。ドイツ系のクォーターでいわゆるヒョロマッチョ。セルの構成員としては希少な潜入任務を得意としており、単独行動が重要視されるなミッションによく駆り出されている。

基本的には物事には斜に構える性格で、よほどのレベルでない限り素直さというもの表面化させることはない。また子供の頃の環境から『自分の欲しいものは自分の手でつかみ取る』を理想としているのでわがままな点が多く、協調性も高くない。例外は現状で"ティアール・フォース"からの任務依頼のみ。

●過去
ドイツ軍の高官を輩出していた家系の血筋。母は軍内部にいた別の高官の妾(東洋系)の血筋で自身も妾扱い。正室に優秀な兄姉がいたこともあって、一応軍人なるべく英才教育は施されたもののそれ以外の環境は劣悪。母も幼い時に無くしてしまったため人として扱われたことがなかった。そういった環境納10代までの間は軟禁状態で生活しており、オーヴァード覚醒前は栄養失調で死にかけていたほど。

オーヴァードに覚醒したのは『精神的な死』が原因。栄養失調で死にかけ、自分が生かされている意味すら理解できなくなり、心を閉ざした際に何の因果もウロボロスシンドロームの影響を受けて覚醒・暴走し、その超越した力を以て一家郎党を皆殺しにしたところで自我を取り戻した。気付いた時には廃墟となった生家と血みどろになった自身。あてもなくさまようように外の世界へ出て、路上でくすぶっていたところをネイビーの構成員に拾われる。

拾われた先で自身の変化の謎や世界の在り方を知り、自分がいかに縛られていたかを知る。だから『もっと自由に生きることのできる世界』を求め、セルの思想に共通点を見出したが故にFHに所属することを決めた。力の制御を学び、利用できるものはすべて利用してきた結果、ネイビーにおいて一定の役割(居場所)をつかみ取った。

勿論そこに至るまでに反発などもあったため一部を除いてメンバーとはあまりかかわりを持つことはなかったが、拾ってくれた音などもありネイビーには愛着を持つに至った。だから、今もその愛着故に任務をこなしている。